

マイナンバーカードの普及拡大

○行政のデジタル化を進めていくための重要な基盤であり、アフターコロナに対応した行政サービスの提供などに活用

⇒総務省が進める自治体マイナポイントのモデル事業として「こうふマイナポイントプロジェクト」を発足

こうふマイナポイントについて

活動メニューは次ページ

マイナンバーカードの保有 + 「健康・環境・消防団」に関する活動メニューに参加でポイントゲット。

1ポイント=1円分として市内4,000店舗以上で利用可能（一人最大5,000ポイント ※一部除く）

申込

こうふ
マイナポイント申込書

氏名 武田ハルクン

住所 甲府市

申込書やWebで

保有

マイナンバーカード

氏名 武田ハルクン



参加

活動メニュー

健康チャレンジポイント

エコチャレンジポイント

消防団員応援ポイント

取得

こうふ
マイナポイント
1P=1円

ポイント取得までの手続きもサポートします。

市内の店舗利用で還元

本事業で見込まれる複合的な効果として

➤経済活性化

甲府市独自のポイント制度を設立。
ポイントは市内店舗の利用に応じて還元されるため、
経済活性化に寄与。

➤キャッシュレス化

マイナンバーカードを利用して給付事業などを
キャッシュレス化、行政のデジタル化を推進し、
アフターコロナに対応した行政サービスを提供。

➤公民連携体制づくり

参加する市民や市内店舗などが関わり事業を
活性化。公民連携づくりの推進に寄与。

目標値

甲府市マイナンバーカード普及率：
R2.1月 13.3%(コロナ禍前)→R3.4月 27.5%

活動への参加者5,000人を見込むなかで、

カード新規取得者は約3,600人を目標

実施期間

令和3年7月1日から受付開始
令和4年1月末まで

「こうふマイナポイントプロジェクト」事業 各活動メニューについて

各ポイントを重複して選択することも可能ですが、1人あたりの上限は**5,000**ポイントです。
(ひとつのメニューで**10,000**ポイントになるものは、上限に関わらず**10,000**ポイントとなります)

	①健康チャレンジポイント	②エコチャレンジポイント	③消防団員応援ポイント
目的	健診受診率の向上や、生活習慣病予防、高齢者の介護予防などを図り、健康寿命の延伸を目指すことを目的として実施	「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民の地球温暖化対策への意識醸成と行動変容を促すための温暖化対策として実施	消防団員は、消火・水防活動や防火・防災に関わる啓発活動のほか、様々な地域行事に参加し、地域コミュニティの維持や活性化に大きな貢献をしており、その活動を応援するためのものとして実施
対象	19歳以上の市内在住者	市内在住者	甲府市消防団員
	かつマイナンバーカードを保有（取得見込みも含む）		
人数 (見込み)	3,000人	1,000人	1,000人
メニュー 概要	- 健康診査の受診（100P） - 健康手帳による自己管理（300P） - 禁煙外来の受診（500P） - 健康リーダー養成講座修了（1,000P） - ウォーキング健康教室参加（100P） - 卒煙プロジェクト参加（100P） など （各100～1,000ポイント）	- クリーンエネルギー自動車の購入（10,000P） - 住宅の断熱リフォーム（10,000P） - 省エネ型家電の購入（5,000P） - 環境団体の活動（5,000P） - 生ゴミ減量の取組（4,000P） - 再生可能エネルギー電力の利用（3,000P） - 環境保全に関する講演会、活動等への参加（1,000P） など （各1,000～5,000又は10,000ポイント）	- 消防団員（3,000P） - 消防団員への新規加入（5,000P） - 要請に基づく地域活動に参加（500P） （各500～5,000ポイント）
期待 効果	○健康長寿に向けた社会参加を奨励 ○健康意識の向上による健康増進を図る	○環境意識の向上を図り、環境に優しいまちづくりに貢献 ○環境保全活動を奨励	○消防団員の活動奨励 ○新規団員の加入